



# 平成29年 町長施政方針

(その2)

3月2日、平成29年第1回定例会の開会にあたり、勝田町長が施政方針演説を行いました。(内容を一部抜粋して掲載しています。)

## 医療、福祉等

まず、医療についてです。奥出雲病院は地域医療を支える中核病院であり、鈴木院長を先頭に職員一丸となって、町民の皆様が健康で安心して暮らすことがでる医療の提供に努めています。しかしながら、本年4月から、ここ近年で最も常勤医が少なかった平成22年度と同じ、常勤医5名の体制になります。医師の確保は喫緊の課題であり、島根大学医学部への協力要請はもとより、他の病院との連携など、より一層、診療体制の維持に努めます。

次に福祉関係についてです。「支え合い、助け合い、安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、テレビ電話を活用した見守りや、助け合い除雪などの高齢者支援のほか、障がい者、ひとり親、生活困窮者等への各種施策を継続するほか、次の事業に取り組みます。まず、本年5月の「児童福祉法」の一部改正に合わせ、児童虐待への初期対応が迅速・的確に行われるよう、児童相談所等での業務経験を有する専門家を活用した体制の強化を図ります。また、来年度「第5期障がい福

祉計画」を策定し、障がい福祉の一層の充実と重点課題解決のための方策を定めることとしています。そのほか、身体・精神・知的障害の方が、安心して自立した生活ができるよう支援し、障害者福祉施設を整備するNPO法人に施設整備費の助成を行います。さらに、家用自動車や公共交通機関を利用して奥出雲病院へ通院することが困難な障がい者を支援するため、移動支援サービス用のリフト付き車両を更新します。今後も、住民参加による地域づくりを進め、誰もが安心して、支え合って生活していけるよう、引き続き地域福祉の充実を図っていく考えです。

なお、高齢者福祉の充実を図るため、来年度から新たに「介護予防・日常生活総合支援事業」が始まります。本町では、関係事業所、利用者の皆様に対する新制度の説明を終え、今後も雲南広域連合との連携を密にして、新制度の円滑な開始に努めます。また、地域包括ケアシステムの構築に向け、奥出雲病院はもとより、町内の医療機関、外部有識者等の参画により、医療と介護の連携強化に取り組みたいと考えています。

次に、健康づくりについてです。引き続き、小水力発電などの再生可能エネルギーの地産地消を推進するとともに、安価な電力供給による地域の発展を目指します。そのほか、来年度は、農業用小水力発電施設が事業を開始するほか、三沢発電所改築事業の継続実施、第2仁多発電所の可能性調査等、再生可能エネルギーを活用した持続的・安定的な循環型社会の実現を目指します。

昨年、「奥出雲町げんきプラン21第2期計画」の中間期の検証を行った結果、特定保健指導対象者が年々減少するなど、健康意識の向上が見受けられました。皆様のご理解・ご協力に感謝いたします。特定健診をはじめ、がん検診、脳ドック等来年度も経費の助成を行いながら、引き続き健康づくりを積極的に支援します。

## 国民健康保険事業

1月1日現在、本町の国保加入世帯の割合は、37・6%、被保険者は22・1%となっています。特に65歳以上の被保険者の方の加入割合が高く、国保財政は一層厳しさを増している状況です。来年度の国保会計の当初予算は、対前年度比で1・2%増の18億9800万円とされていますが、具体的な税率や均等割の額は国保運営協議会での審議の後、6月定例会に提案いたします。

なお、平成30年度から運営主体が都道府県となるため、円滑な移行ができるよう、引き続き準備を進めていきます。

## 教育の充実

学校教育は、ふるさとに誇りと愛着を持った子どもを育てていく

ため、引き続き、ふるさと教育、キャリア教育を進めます。また、幼稚園、小・中学校の連携に加えて、横田高校との連携を強化するとともに、引き続き県派遣の職員を教育委員会事務局に配置し、学力向上や特別支援教育、公民館活動などの充実を図ります。さらに、基礎学力の向上や教員の指導力向上を図るため、引き続き町単独の学力向上推進員を配置するほか、複式学級における学年別指導の充実を図るための複式学級指導員を配置いたします。

学校の施設整備については、三成小学校教室棟の耐震改築を行うための設計業務に着手するほか、横田小学校屋内運動場屋根の改修を行う考えです。そのほか、横田高校の魅力化・活性化につきましては、引き続き、地域おこし協力隊員による魅力化コーディネート員の配置、通学費助成など、生徒の確保に向けた町独自の支援を実施するほか、新たに、企業版ふるさと応援寄附金を活用した人材育成にも努めます。

## スポーツ・文化振興

町民の健康増進、体力向上、生涯スポーツの普及・振興は、引き続き奥出雲町体育協会、スポーツ

推進員と連携を図りながら、各種支援に努めます。また、平成30年度に本町で開催される全日本中学生ホッケー選手権大会に向けての準備を進めるとともに、横田高校などのホッケー競技力向上、東京オリンピックの事前キャンプ、大学生等のスポーツ合宿などの誘致活動を推進いたします。文化・芸術の振興については、引き続き、奥出雲町文化協会をはじめとする文化芸術団体等への支援を図るとともに、多様な芸術文化に触れる機会を提供し、文化の薫り高い町づくりを進めます。また、本町のたたら製鉄の歴史的価値を更に高めるため、重要文化財櫻井家住宅に付属する松平不昧公ゆかりの庭園が国の名勝に指定されるよう、文部科学大臣に具申ししたところです。

今後は、登録有形文化財絲原家住宅に付属する庭園についても、国の登録名勝に登録されるよう取り組めます。

## 新エネルギー施策

昨年12月から売電を始めた本町の第三セクター「奥出雲電力株式会社」につきましては、今後、民間の事業所等への供給を積極的に進めていく考えです。

## 消防・防災対策等

昨年4月に発生した熊本地震をはじめ、10月には鳥取県で、11月には福島県で次々と大地震が発生し、12月には、新潟県糸魚川市で大火災が発生しました。このため、町民の生命財産を守るため、耐震性貯水槽の整備をはじめ、消防車両の更新等を計画的に行うほか、災害時業務継続計画の策定作業を進め、災害に強い町づくりに取り組んでいく考えです。

また、7月に大田市で開催される県消防操法大会には、三沢分団が「小型ポンプの部」に、馬木分団が「ポンプ車の部」に出場することが決定しています。団員の皆様におかれましては、これら大会を契機に、有事に備えた消防技術の習得・練磨に努めていただきますようお願いいたします。

## 職員の法令遵守

今年度、本町職員が、官製談合防止法違反等及び収賄の容疑で逮捕・起訴されたことは、極めて遺憾であり、改めて町民の皆様に対し深くお詫び申し上げます。全容が解明され次第、町長である私も含めた関係者の処分について、厳正に対処してまいりたいと考えています。

なお、現在、再発防止の一環として、職員に対する公務員倫理の徹底と入札制度の改善について検討を進めており、専門家等第三者の意見も参考にし、今後の事実関係を踏まえた改革案をまとめることとしています。

引き続き、一日も早い町民の皆様からの信頼回復に努める所存です。